

② 教科指導月別評価の観点

	① 時数の進捗	予定時数が確保され、単元・題材の展開は予定通り進行している。
	② 内容の到達度	単元・題材でねらう目標が授業の実施により、確実に生徒のものになっている。
P	③ 週案・指導案の作成	指導計画が週指導計画案や学習指導計画案に活用され、授業の実際に生きている。
	④ 教材研究	教材研究が授業の質的な改善・充実を旨として行われている。
D	⑤ 指導方法の工夫	生徒の実態に即した、適切な指導法が工夫されている。
	⑥ 思考力を高める指導	現職教育テーマに即し、思考力を高めるための指導を意図的にすすめている。
	⑦ 小集団学習の活用	現職教育テーマに即し、活動力を高めるための授業形態を意図的に活用している。
	⑧ 教科・教具の活用	教科の特性に即した教材・教具の収集・整備とその活用が図られている。
S	⑨ 授業記録の累積・評価	授業の実施状況を適宜記録・累積し、反省評価に生かしている。
	⑩ 指導法の改善	諸検査やテストの結果及び授業記録の評価を、指導法の改善に生かしている。

評定尺度

○ = 10点	よい (ややよい)	・満足 (ほぼ満足)	・望ましい (やや望ましい)
△ = 5点	普通の状態	・よくも悪くもない	・どちらともいえない
× = 0点	悪い (やや悪い)	・不満足 (やや不満足)	・望ましくない (あまり望ましくない)